

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1070-1	(H.24)No.	1070-1
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名		医療体制推進費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡憲子	63-3913
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	昭和	52年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	250502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	医療体制推進費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>時間外の一次救急医療を確保するため名張市応急診療所への医師派遣を医師会へお願いしている。また、小児科医師以外の医師が応急診療所での診療に従事するため小児救急医療医師研修を実施している。歯科の一次救急患者の受入れについては、歯科医師会へ年末年始の在宅歯科診療をお願いしている。また、かかりつけ医をもつことを啓発するとともに、急病になったときに適切な医療機関の受診案内を行っている救急医療情報システムの活用も啓発している。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>夜間・休日の一次および二次救急患者の受入れ体制を確保するとともに、救急医療の適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円 一次救急医療体制事業委託 3,015,000円 救急医療情報システム運営事業 705,515円	年末年始在宅歯科応急診療委託 280,000円 一次救急医療体制事業委託 3,015,000円 救急医療情報システム運営事業 821,000円 ほか	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
			平成24年度と同様に実施予定	平成24年度と同様に実施予定	平成24年度と同様に実施予定
直接事業費	4,001千円	4,128千円	4,116千円	4,116千円	4,116千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金	273	273	273	273
	地方債				
	その他(諸収入)	320	319	319	319
一般財源	(0) 3,408	3,536	3,524	3,524	3,524
人工数	職員	0.30人	0.49人	0.49人	0.49人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 2,190千円	3,577千円	3,577千円	3,577千円	3,577千円
+ 総事業費	(0千円) 6,191千円	7,705千円	7,693千円	7,693千円	7,693千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	-
	実績		6,717	8,608	6,369	6,503	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	31.0
	実績		29.4	32.5	33.6	41.2	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	80.0
	実績		77.4	78.0	79.9	75.3	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
時間外一次救急の受入れの充実や、かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の役割及び適切な医療機関受診など3師会の協力を得ながら、市民への啓発を行う必要がある。	今後も引き続き取り組みを進めていきます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	3師会の協力を得て、一次救急医療体制の充実及びかかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の啓発、医療機関の適正受診の啓発を行う。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	桔梗が丘地区基本施策「生きがい・健康」小施策「ホームドクター制度」の促進
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	かかりつけ医の推進、一次医療・二次医療の役割分担等を推進している。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
医療体制の充実については、引き続き取り組んでいく必要がある。

特記事項